

病態生理学

単位数（時間数）：2 単位（30 時間） 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講時期：後期

科目責任者（職位・氏名）：教授・三浦靖彦

科目担当者（職位・氏名）：

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢
看護の基礎的・専門的知識・技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：27

■ 授業概要

病気を抱える人間を理解するうえで基盤となる、病気の成り立ちとその症候についての基本的知識を修得し、疾病治療論の学修へと理解を教授する。具体的には、細胞の傷害、再生、老化と変性を理解し、炎症、感染、アレルギーの基礎的知識を学修する。循環障害、ショック、疼痛、浮腫等主要な症状に関して、その成り立ちと治療について教授する。

■ 到達目標

1. 細胞・組織の正常（恒常性）とその異常について例を挙げて解説できる。
2. 免疫・感染にかかわる細胞を具体的に挙げ、その役割を説明できる。
3. 創傷治癒・炎症にかかわる細胞を具体的に挙げ、その役割を説明できる。
4. 腫瘍の種類と形成機構を説明できる。
5. 代謝の恒常性と異常について関連する臓器も含め具体的例を挙げ説明できる。

■ 教育内容

疾病の成り立ちと回復の促進

■ キーワード

教科書の各章の最後にある「重要用語」および講義での「到達度チェック」

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	病態生理の基礎	講義（解剖生理学の復習含む） 【教科書：序論（P.12-P.16）】	三浦
2	人体を構成する細胞・組織・器官	講義（解剖生理学の復習含む） 【教科書：序論（P.12-P.16）】	三浦
3	体液の異常と恒常性	講義 【教科書：1. 体液の異常（P.17-P.30）】	三浦
4	局所血液循環と異常	講義 【教科書：2. 血行障害（P.31-P.38）】	三浦
5	全身血液循環と異常	講義 【教科書：2. 血行障害（P.31-P.38）】	三浦
6	炎症と修復—I	講義 【教科書：3. 炎症と修復（P.39-P.44）】	三浦
7	炎症と修復—II	講義 【教科書：3. 炎症と修復（P.39-P.44）】	三浦
8	免疫機構	講義 【教科書：4. 免疫および免疫疾患（P.45-P.52）】	三浦
9	感染の成立と修復	講義 【教科書：5. 感染（P.53-P.61）】	三浦
10	再生と変性・壊死・萎縮・老化	講義 【教科書：6. 変性・壊死・萎縮・老化（P.62-P.71）】	三浦
11	腫瘍-I	講義 【教科書：7. 腫瘍と過形成（P.72-P.80）】	三浦
12	腫瘍-II	講義 【教科書：7. 腫瘍と過形成（P.72-P.80）】	三浦
13	先天異常	講義 【教科書：8. 先天異常（P.81-P.88）】	三浦

14	代謝異常-I	講義 【教科書：9. 代謝異常 (P. 89-P. 96)】	三浦
15	代謝異常-II	講義 【教科書：9. 代謝異常 (P. 89-P. 96)】	三浦

■ 履修条件

形態機能学Ⅰ（解剖学）、形態機能学Ⅱ（生理学）を履修済みであること。

■ 成績評価方法

「講義ノート」のレポート20%、および試験80%

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

必要に応じて学務課を通して行う。

■ 教科書

- ・『デジタルナーシング・グラフィカ』メディカ出版
疾病の成り立ち ① 病態生理学
- ・小林正伸著（2019）「なるほどなっとく！病理学 病態形成の基本的な仕組み 改訂2版」南山堂

■ 参考書・参考資料等

- ・笹野公伸、岡田保典、安井弥編（2020）『シンプル病理学 改訂第8版』南江堂
（図書館などで参照）

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

予習、復習の一環として事前に「学習達成チェック」に目を通すこと。講義ノートを毎週提出する。2時間程度。

■ 担当教員からのメッセージ

病気をしたことがない人はいません。これまでに経験した疾患を思い出しながら、自分のことと置き換えて考え、学習することが大切です。「一般用語」から「専門用語（病理学用語）」への置き換えです。すでに解剖生理学等で学修した内容も合わせ、各自の病気や怪我などの経験を専門用語で表現できるのが目標です。また、新聞、テレビ、ウェブサイトなどで関連する情報に興味を持って意識的に接すること。プロの看護師として活用できる総合力を身につけましょう！

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

講義の後の時間に対応可能。

その他は学務課へお問い合わせください。

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の実務経験

医師

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

■ 実務経験を活かした教育内容